

# 学園だより

第1号 平成29年4月10日発行

義務教育学校 八女市立上陽北渾学園

文責 校長 中島賢二

## 「義務教育学校 上陽北渾学園」が開校しました！

4月6日(木)、これまで「小中一貫教育校 上陽北渾学園」であった本校が、新たに「義務教育学校 上陽北渾学園」として出発すべく、開校式が盛大に開催されました。

義務教育学校とは、平成28年に法律で位置づけられた、小中一貫教育を行う学校のことです。これにより、小学校でも、中学校でもない、県内唯一の新たな学校が誕生したことになります。

前日には、まちづくり協議会の皆様が、校門のところに開校を祝した心温まる歓迎アーチを作ってくださいました。

当日は、朝から雨交じりの天気で心配しましたが、本降りになることもなく滞りなく式を行うことができました。10時30分、福岡県教育委員会の城戸秀明教育長をはじめ、たくさんの来賓の皆様に参加いただく中、式が始まりました。

三田村市長、西島教育長からご挨拶をいただいた後、市長から教育長に渡った校旗がさらに校長に手渡され、名実ともに義務教育学校となりました。

入学式を翌日に控え、1年生と7年生のいない中でしたが、子どもたちは最後まで集中を切らず、一生懸命話を聞き、大きな声で校歌を斉唱することができていました。



Web版につき写真を割愛します

この模様はその日の夕方のニュースでも報道され、児童生徒を代表して9年生の生徒会長が「福岡県初の義務教育学校の児童生徒として、地域の誇りとなるような学校にしていきます。」との挨拶を、立派に行っている場面が映し出されました。

「明日を照らすはこの地から」、中島清志先生が作詞された本校校歌にあるように、県内初の義務教育学校として、職員一同子どもたちのよりよき育成に頑張っていきたいと考えています。

保護者や地域の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 1年生と7年生の入学式がありました！

開校式の翌日4月7日(金)には、1年生と7年生の入学式がありました。義務教育学校となり、今後は6年生で卒業しませんので、7年生の入学式は実質的に今回が最後となります。

あいにくの小雨交じりの天候でしたが、1年生も7年生も元気に登校してきてくれました。

10:00からの入場では、7年生が1年生の手を引いて入場してくるといふ、義務教育学校ならではの姿が見られ、とても微笑ましく感じました。

担任の先生の発表の後、一人一人新入生の呼名があり、みんな元気よく「ハイ！」と返事をしてくれました。

児童生徒代表宣誓では、7年生の代表生徒が「一生懸命勉学に励み、仲間とともに助け合い、支え合いながら、学校生活を送っていきます。また、自分なりの目標をたて、その目標に向かって前進できるよう心と体を鍛え合っていきます。」と、誓いの言葉を堂々と述べてくれました。

その後の学活では、担任の先生とともにこれから生活していく教室に入り、いろんな説明を聞いていました。

これで平成29年度の上陽北浜学園の児童生徒179名がそろいました。全校生徒と職員が心をひとつにし、素晴らしい学校を作っていこうと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ変わらぬご支援をお願いいたします。

Web版につき写真を割愛します

Web版につき写真を割愛します

Web版につき写真を割愛します

## 今後ともよろしく申し上げます！

申し遅れましたが、今回の異動で西中学校から赴任して参りました校長の中島賢二と申します。

上陽北浜学園に来て、保護者の皆様や地域の皆様に支えられて存在している学校なんだなということを改めて実感しています。新米の校長ですので、何かとご心配をおかけするかと思いますが、一生懸命つとめますのでどうぞよろしくをお願いいたします。

ついては、今回は記事にする内容が多すぎましたので、私以外の職員の紹介は次回のたよりに譲らせていただきます。

なお、今回も生徒の顔がわかる写真を使用していますが、肖像権の問題もありますので、今後本学校だよりの他、各種メディアへの写真等の掲載については、別途行う案内にて、承諾の可否をご提出いただくようにしておりますことを申し添えます。